

平成 28 年 4 月 7 日

交通政策審議会答申（小田急多摩線延伸）に関するコメント

相模原商工会議所
会頭 杉岡芳樹

これまで、産業界では、市民、行政機関とともに、小田急多摩線延伸の実現に向けて積極的な要望活動を展開してまいりました。このたび、交通政策審議会において、小田急多摩線の唐木田駅から JR 横浜線相模原駅・JR 相模線上溝駅への延伸について、位置づけられたことは、産業界としても大変喜ばしいものと考えております。

小田急多摩線が延伸することで、首都圏南西部の新たな交通軸が構築され、相模原駅周辺は、基地返還跡地を活用した本市の表玄関にふさわしい土地利用を図ることが可能となり、市が進めている広域交流拠点の整備計画に一層、弾みがつくこととなります。

産業界としましては、交通新線の乗り入れに伴う広域交流拠点のまちづくりによって、企業の進出が見込まれ地域の活性化が図られるなど、本市のさらなる経済振興が図られるものと考えております。解決すべき課題はありますが、一日も早く小田急多摩線が延伸されますことを望んでおります。